

2. 職場に勤めていて、特定の問題について1人で何とかしようと思っても難しい。

皆さんの家族や親戚、知り合いには民間企業で勤めている（いた）人はいませんか。民間企業の中には労働組合があり、勤務条件（給与、勤務時間、休暇、福利厚生など）について経営者（管理職）と交渉することができます。

たった一人で社長に直訴に行っても、社長室の入口の受付で追い返されたり、奇跡で話を聞いてくれたとしても一個人の話として終わったりしてしまいます。それが、大半の従業員が同じ望みを持っていると言うならば、聞く側はどうでしょうか。もちろん数百人、数千人で社長室に押しかけることはできませんので、代表者が行くことになります。その時に、「みんなが願っている。」と言うことには強いインパクトがあります。

ここで、経営者側で考えることは、『「みんな」とは何人？』ということです。職員室でも出るフレーズではないでしょうか。経営者側が社員に聞いて回ったときに、誰もが同じことを願っていると答えたとしたら、経営者側も少しは考えようとするのではないのでしょうか。

そして、誰もが同じことを言っているのなら、取りまとめをしてくれる組織があったら便利ではないでしょうか？